

あみだどう せきとうせきぶつ
阿弥陀堂と石塔石仏

木像の座像勢至菩薩と観音菩薩がまつられ、阿弥陀堂の横に石の塔や石でできた仏さまがたくさん並べてありますが、ほとんどが上原田の廃寺跡にあったものです。

行った日



おがわてんまんじんじゃ
小川天満神社

小川天満神社は、小川の村の神社で、初めは小川字高岸にありましたが、正保4年(1647)に今の場所に移されました。杉板に菅原道真の像を彫って御神体としてまつているので、別名「杉板神社」ともいわれています。

行った日



かのうじんじゃ ぎょうじゃどう
加納神社と行者堂

加納神社の御神体はお地藏さまです。かつてこのあたりを開拓していた時、水不足で困っていたところ、夢にお地藏さまが出てきて、掘るべき溝の場所を教えてくださいました。そのとおりに溝を掘ると、田畑に水が流れるようになり、喜んだ人々がお地藏さまの像を彫って、加納大神としてまつりました。

行った日



こやすじぞう
子安地藏

右手に杖、左手に宝珠を持った、立ち姿のお地藏さまです。姫路城の殿さま榊原式部大輔の娘が子どもを授かった時に夢を見て、このお地藏さまにお祈りしたところ安産になったといわれています。

行った日



ごりょうてんじんじゃ
五霊天神社

昔、一本松は市之郷の五霊天神社を村の守り神としていました。五霊天神社は、少彦名神や猿田彦命、神功皇后、応神天皇、大蔵神という五つの神さまをまつたので五霊天神社といわれています。今は、菅原道真を神さまとしてまつっています。

行った日



はなだちく
花田地区



たかのきじんじゃ
高乃木神社

はなだ い べつめい はなだ ゆ
花田井 (別名:花田湯)

おがわてんまんじんじゃ
小川天満神社

はなだちゅうがっこう
花田中学校

じょうかくじ
定額寺

はなだちく
49 花田地区

昔の市川は砥堀の南で二つに分かれていて、西の川を大川(船場川)といい、東の川を小川といいました。小川の流れる場所は時代によって変わってきたそうです。今の流れになったのはいつごろなのでしょう。市川の歴史について調べてみましょう。



しら
調べたこと、
わ
分かったことを
か
書いてみよう!



ちやうし おおとしじんじゃ
勅旨大蔵神社

はなだしょうがっこう
花田小学校

わかみやじんじゃ
若宮神社

こやすじぞう
子安地藏

あみだどう
せきとうせきぶつ
阿弥陀堂と
石塔石仏

かのうじんじゃ ぎょうじゃどう
加納神社と行者堂

ごりょうてんじんじゃ
五霊天神社

ばんたんれんらくどう
播但連絡道路

さんようほんせん
山陽本線 (JR神戸線)
さんようしんかんせん
山陽新幹線

- いせき しせき 遺跡・史跡
- じんじゃ 仏閣
- じんぶつ 歴史的建造物
- じんぶつ 歴史上の人物など
- まつり 祭り
- びいどろ 美術品
- いせき しせき 歴史上の名所
- じんじゃ 神社・仏閣
- じんぶつ 歴史的建造物
- じんぶつ 歴史上の人物など
- まつり 祭り
- びいどろ 美術品

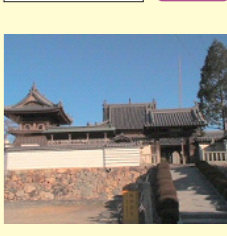
- でんとうげいぶつ 伝統芸能
- けいぶつ 景勝
- せいぶつ 生物・花
- まちあみ 町並み
- etc その他

0m 500m 1km

じょうかくじ
定額寺

定額寺ができたのは奈良時代で、個人のお寺として建てられ、その後、国が管理するお寺の一つに加えられたと伝わっています。境内に石積山古墳から見つかったとされる石棺があり、それに彫られた石仏は室町時代のものと伝わっています。

行った日



たかのきじんじゃ
高乃木神社

『播磨国風土記』という本に「白なめし」と書いてあるように、この地区は皮革産業で発展してきました。高木には高木白なめしを始めたといわれる聖翁をまつる聖神社、大將軍神社、天満神社がありました。昭和39年(1964)に今の土地に集められ、高乃木神社となりました。

行った日



ちやうし おおとしじんじゃ
勅旨大蔵神社

もとは字天川の宮田にありましたが、元禄のころに今の場所に移されました。野島の山王神社から神さまを分けておまつりし、三王大明神とよばれていましたが、明治維新の後、元の神社が日吉神社と名前を変えた時に、この神社も大蔵神社という名前に変わりました。

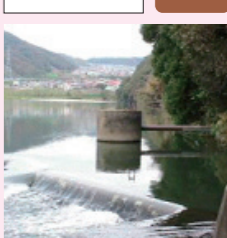
行った日



はなだ い べつめい はなだ ゆ
花田井 (別名:花田湯)

市川に堰をつくって川の流れを分け、高木、おがわ、勅旨、上原田、加納原田、豊国、深志野、国分寺、御着などの田畑に水を送る用水です。天保元年(1830)に保城山のふもとに新しく橋門をつくり、今に至っています。「花田」という地区の名前は、この花田井から付けられました。

行った日



わかみやじんじゃ
若宮神社

奈良時代に建てられた乗福寺の守り神である、若宮大権現が残ったものと伝わっています。

行った日

